

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

教頭（拠点校参与）

評価領域	着眼点
I 事務事業	<ul style="list-style-type: none"> ・担当するグループ内の各学校（以下「グループ校」という。）の課題等を的確に把握し、教育活動が実態に応じて円滑に行われるよう、適切に相談・助言等を行っている。 ・グループ校の校長の円滑な学校運営の実現に向け、組織活用の視点に基づきながら、効果的に相談・助言等を行っている。 ・担当業務に関する十分な知識や基本的なノウハウを有し、豊富で幅広い情報を得て活用している。
II 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ校の校長と意思疎通を図り、信頼関係に基づいた適切な相談・助言等を行っている。 ・グループ校の校長との相談・助言等を通じて、学校組織マネジメントに関する自らの経験や知識、技術等を継承している。
III その他の職務	<ul style="list-style-type: none"> ・他の教頭（拠点校参与）や職員と共通理解を深めながら説明や調整を行い、連携・協力のもとで職務を行っている。 ・教育公務員として、高い倫理感と自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。